

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。
また、ご自身で調整を行う場合も、本書に従って行ってください。
ご自身で調整しても不具合が改善されない場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または当社お客様相談室に修理を依頼してください。

お願い

【調整する場合】

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

【水への配慮】

お手入れの際、窓やドアにホースや高圧洗浄機などで勢いよく水をかけないでください。
室内側へ水が入るおそれがあります。

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。
有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると変色するおそれがあります。
付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。
布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

【樹脂製商品】

ストーブやアイロンなどの熱源を近づけないでください。
熱源を近づけたり、触れたりすると、変形することがあります。

樹脂表面に、殺虫剤などの薬剤を塗布・散布しないでください。
薬剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

【ガラス】

お手入れの際は、必ず柔らかい布をご使用ください。
ガラス表面にキズがつくと、割れるおそれがあります。
ガラス表面にキズがついた場合はお早めに、お取り扱いの建築会社、工務店、
販売店、またはお客様相談室にご相談ください。

【電動商品】

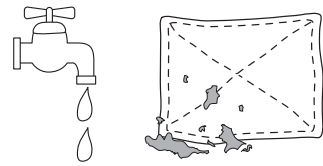
お手入れの際、電装部品に水がかからないようご注意ください。
水がかかると、故障するおそれがあります。
電装部品に不具合が生じた場合は、まずお取り扱いの建築業者、工務店、販売店、または
お客様相談室にご相談ください。

お手入れ方法

■通常のお手入れ（ハンドル・引手含む）

1 表面のホコリ・砂を落とす

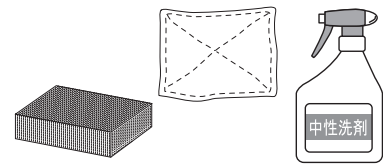
柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。



2 水ぶきする

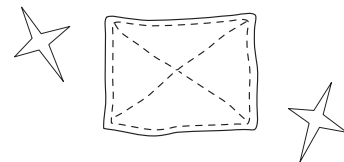
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■樹脂窓の汚れが落ちにくい、白っぽく見える場合

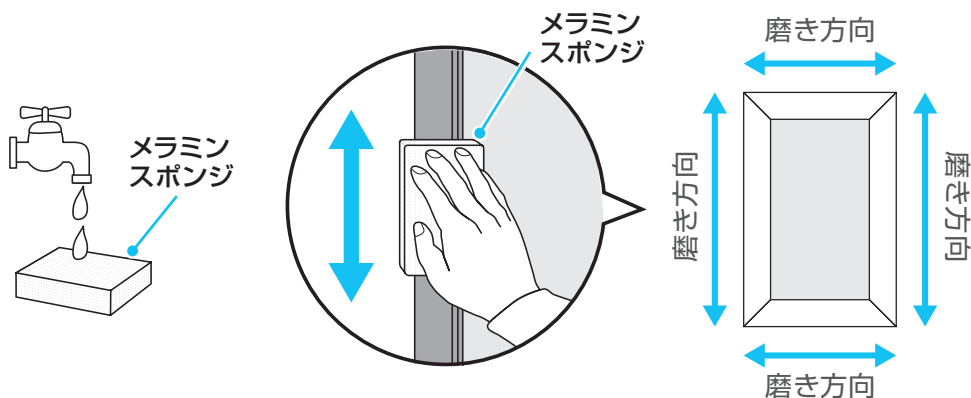
1 メラミンスポンジで磨く

メラミンスポンジに水を含ませ、汚れ面にキズがつかない程度で均一に押し付けながら部材全体を長手方向に沿って磨きます。（目安として3～10往復程度）

※汚れが落ちない場合は、徐々に力を加えながら磨いていきます。

お願い

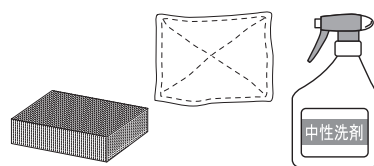
- 初めに目立たない部位で磨く際の力加減を確認してください。強く擦りすぎると、色ムラやテカリの原因となるおそれがあります。



2 水ぶきする

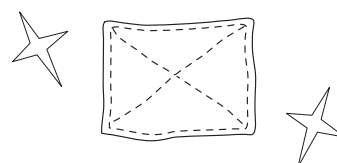
柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

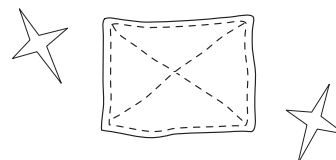
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■結露・雨水などがかった場合

1 水分をふき取る

すみやかに乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



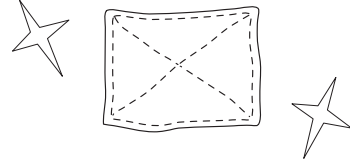
■リモコンのお手入れ

1 柔らかい布で空ぶきする

表面の汚れは、乾いた布や綿棒で軽くふき取ってください。

⚠️ 注意

- お手入れの際、誤ってリモコンのボタンを押さないようご注意ください。意図せず商品が作動し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



🙏 お願い

- リモコンを水拭きしないでください。リモコンの中に水が入ると故障の原因となります。

下枠・レール

- 下枠やレールは、特に砂、ホコリ、ゴミなどがたまりやすいところです。こまめにお手入れしてください。

1 砂やホコリを吸い取る

レールのミゾ内部にたまった砂やホコリを掃除機で吸い取ります。



または、やわらかいブラシで砂やホコリを落とします。



2 汚れをふき取る

割り箸の先に布を巻き付け、さらに汚れをふき取ります。



ガラス

- ラスに浮き出る吸盤やラベルの跡について

ガラス表面が曇った時など、製造や施工の際に使用する吸盤の跡や、施工時に貼ってあるラベルの跡が浮き出てくることがあります。

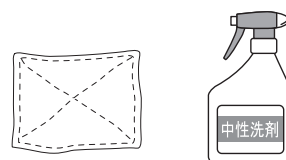
これは、ガラスの機能や性能に影響を及ぼすものではありませんが、通常のクリーニングでは除去できない場合があります。中性洗剤で落とすことが難しい場合は、カー用品店やホームセンターで購入できる「自動車用油膜除去剤」（酸化セリウム配合）で除去できます。

ご使用にあたっては、「油膜除去剤」に添付されている取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。

■ガラスのお手入れ

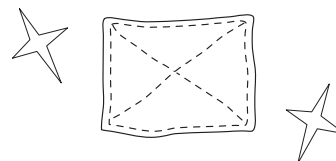
1 汚れをふき取る

柔らかい布に中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



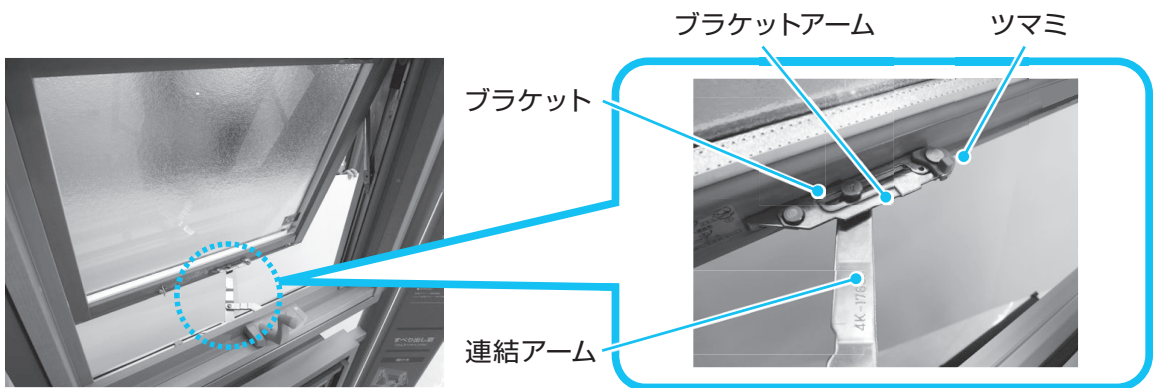
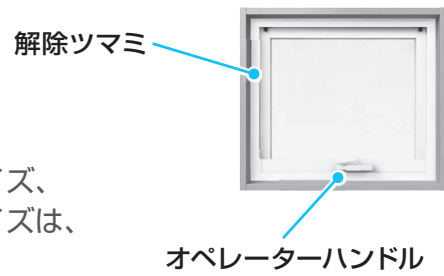
2 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



お掃除モードの設定方法 (オペレーターハンドル)

APW430は、窓の高さが44cmから71cm以下のサイズ、
APW330は、窓の高さが37cmから71cm以下のサイズは、
窓を開放して室外側ガラス面の清掃ができます。
それ以外のサイズは、お掃除モードにできませんのでご注意
ください。



1 窓を開ける

2 ツマミをまわす

ブラケットのツマミを室外側にまわします。

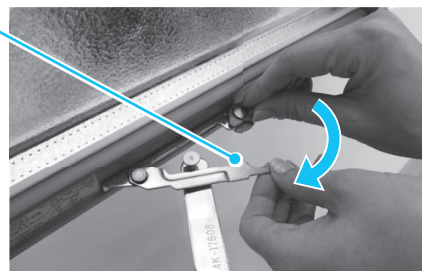
ツマミ



3 ブラケットアームを開く

ブラケットアームを開きます。

ブラケット
アーム



4 連結アームをはずす

連結アームをブラケットからはずします。

連結アーム

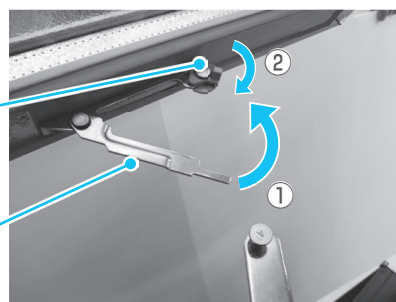


5 ブラケットアームを閉じる

ブラケットアームを閉じ、ツマミを室内側にまわします。

ツマミ

ブラケット
アーム

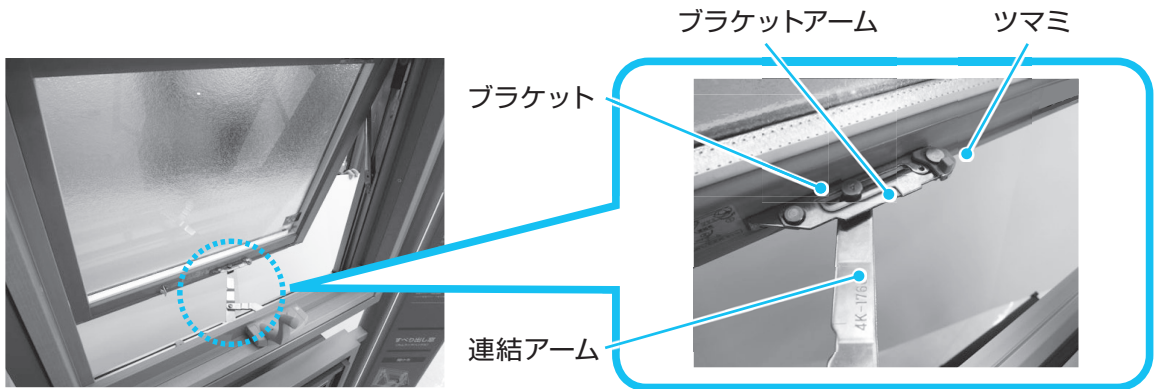
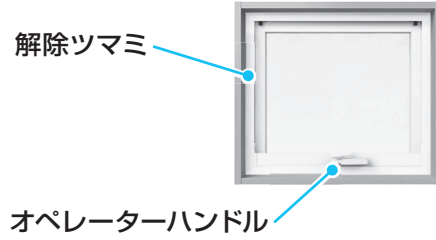


6 窓を開け、ガラス面を清掃する

窓を開け、室外側のガラス面を清掃します。



お掃除モードの解除方法 (オペレーターハンドル)



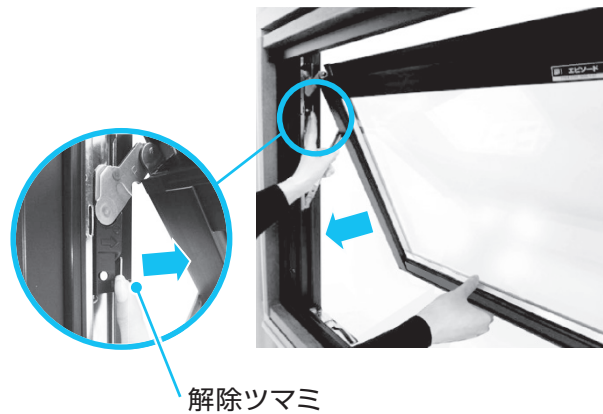
1 アームの固定を解除する

左アームの解除ツマミを室外側に押しながら、窓を引きます。

お願い

- 窓が勢いよく閉まらないよう、窓を押さえながらゆっくり閉めてください。

※解除ツマミが固くて押せない場合、少し窓を持ち上げると動きやすくなります。



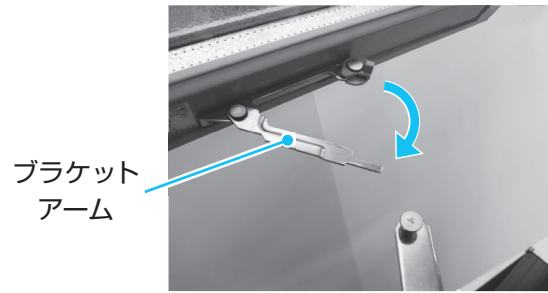
2 ツマミをまわす

ツマミを室外側にまわします。



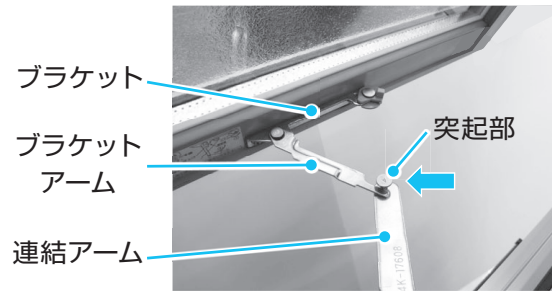
3 ブラケットアームを開く

ブラケットアームを開きます。



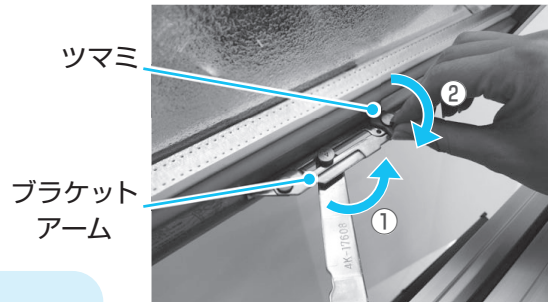
4 連結アームをブラケットにはさむ

連結アームの突起部をブラケットとブラケットアームの間にはさみ込みます。



5 ツマミをまわす

ブラケットアームを閉じ、ツマミを室内側にまわします。



お願い

- ツマミは最後までまわしてください。最後までまわさないと、窓の開閉に不具合が起こるおそれがあります。

6 窓を閉める